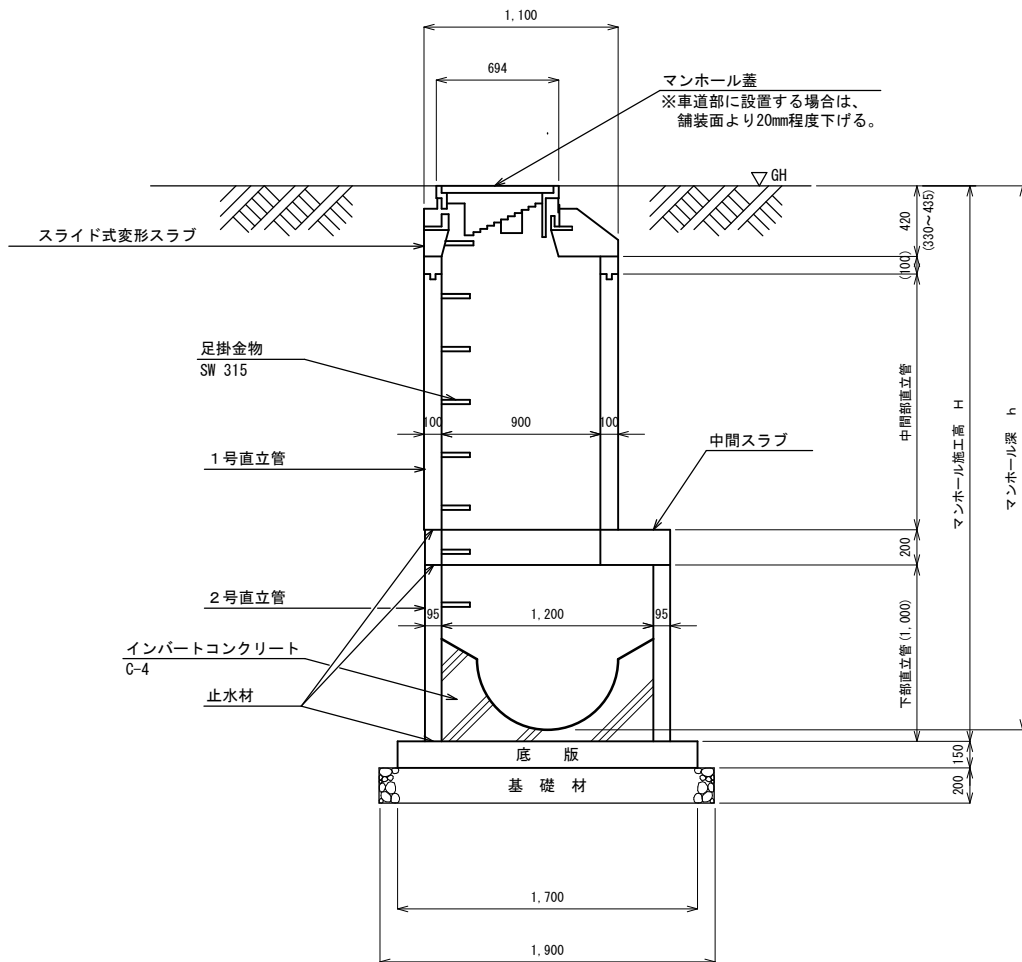


2号マンホール標準図

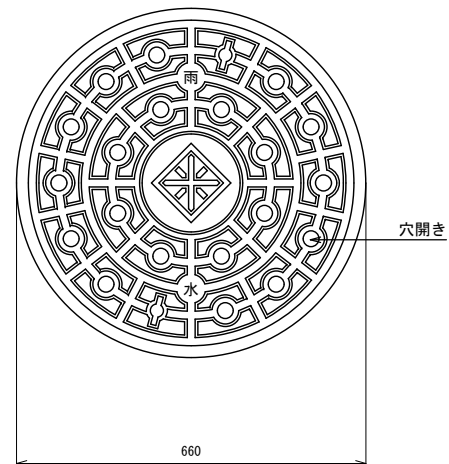
S=1:30



※足掛金物の位置は路肩（歩道）側を標準とする。
 但し、複数の流入がある場合等は、点検時に支障とならない箇所とする。
 2号マンホール以上は下部直立管の上部にスラブを設置し、中間部直立管からは1号マンホールを使用する。
 1号直立管が100cmを超える場合、10cmの切り管を布設する。
 スライド固定用のボルトはスライドの段数により適宜調整し、確実にロックさせること。

マンホール蓋詳細図

S=1:10

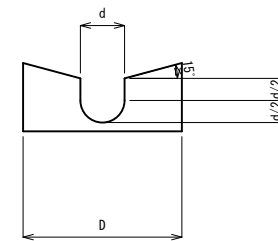
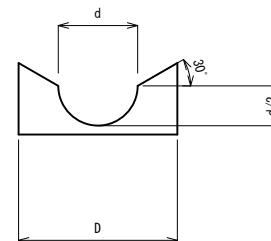


インバート詳細図

Non-Scale

φ 300以上円形管の場合

φ 250以下円形管の場合



- * 段差が5cm以内であればインバートをすり付ける。
- * 段差が6cm以上であればインバートを下流勾配に合わせる。
 但し、下流が塩ビ管の場合は下流勾配の2倍とする。

年度	
路線名	
工事名	
図面名	2号雨水マンホール標準図
縮尺	図示 図面番号
設計年月日	
岩見沢市建設部土木課	